



今日、6日は、啓蟄（けいちつ）。春の気配に誘われて冬ごもりの虫も顔を出すころとなりました。先日、庭先で摘んだふきのとうをてんぷらにさせていただき、何とも言えない苦みを味わいました。2号線を走ると、沿道の家では白い梅の花がきれいに咲き始めています。まだまだ寒い時節ですが、一雨ごとに気温が上がり日差しも徐々に暖かさを増してきます。綿打小の児童は、今、1年間の学習のまとめと自らの成長を振り返り、進学や進級に向けて準備や心構えを整えています。

先月も児童の活躍する姿や確かな学びの場がたくさん見られました。

心と心で伝統をつなぐ バトンタッチ

2月23日（金）、「6年生を送る会」が行われました。在校生からは、卒業を間近に控えた6年生に向けて各学年の出し物とプレゼントが送られました。各学年とも限られた時間の中で気持ちを一つにして練習に取り組んできました。本番では、心を込めた演技や演奏で、今まで6年生から受けた親切や優しさ、思いやりへの感謝とお礼の気持ちを表現し、卒業後の活躍を願う励ましの言葉も伝えられました。6年生からは、趣向を凝らした劇で6年間のできごとを振り返るとともに、在校生に後を託す期待のメッセージが伝えられました。最後に、全校合唱で「すてきな友達」を歌い、友達の大切さやありがたさ、心強さを互いに確かめながらバトンが引き継がれました。



1年生 音楽劇「ともだちや」



2年生 歌・合奏「あえてよかった」



3年生 合唱「君とぼくのラララ」
合奏「ミッキーマウス」



4年生 合唱「大切なもの」



6年 「劇と歌・キセキ」



5年生 合唱「ありがとうの花」
合奏「キリマンジャロ」



太田かるた大会 団体優勝 2/17 (土)

太田市武道館で「第12回太田かるた大会」が行われました。本校から4年生5名が参加し、個人戦と団体戦に臨みました。仲間とともに毎日のように練習に取り組んだ成果を発揮し、見事な成績を収めました。

個人戦 第6位

団体戦 優勝



生命の大切さ 2/6 (火)

5年生で「命の授業」が行われました。養護教諭の先生から、映像や人形などを使いながら人の母体内での子どもの成長から誕生までの変化の様子について説明がありました。生まれたばかりの赤ちゃんの人形を抱きかかえる体験をした児童は、とても優しくそうな表情をしていました。人の誕生と成長のすばらしさ、生命を尊重し大切にすることを実感した授業でした。



喫煙防止教室 2/8 (木)

6年生は、学校歯科医の先生をお招きして喫煙防止について学びました。タバコの煙が体に及ぼす害やがんの発生リスクを高めるることについて、映像で確かめながら説明を聞きました。副流煙には吸い込む煙よりずっと多くの有害物質が含まれ、受動喫煙による健康被害の危険性が高まることが分かりました。喫煙や薬物を防止して健康な体を守ることが大切です。



移動尾瀬自然教室 (尾瀬学習) 2/14 (水)

4年生が、県自然環境課が行う尾瀬学習に取り組みました。尾瀬で働く職員の方が訪れ、スライドやぬいぐるみなどを使って尾瀬の自然についてお話をしてくださいました。湿原の成り立ちや尾瀬に生息する動植物、気象や気候の特徴などについて学び、尾瀬や自然環境への関心を高めました。中でもオコジョは児童に大人気で、映し出されたスライドに見入っていました。



第5回土曜スクール 2/17 (土)

管理栄養士の先生を講師にお招きし、料理教室が行われました。1年生から6年生の28名が参加し、グループごとに料理しました。メニューは、しゅうまい、もち米しゅうまい、コーンスープです。玉ねぎのみじん切りで涙がにじむ児童もいましたが、先生の手ほどきで上手に作り、とてもおいしくいただくことができました。

